

1. なるっぴクリスマス 2. 富士市放課後子ども教室 3. 本田宗一郎物語 4. 星を見るつどい

★NAture・LOve・Peace

湖西なるっぴスクール クリスマス会

(主催) NPO法人 湖西なるっぴスクール
理事長：倉田 ^{たえこ} 栲子 さん
(人づくり推進員)



◆地域の取組紹介

湖西市鷺津を中心に活動している NPO 法人湖西なるっぴスクールは、青少年活動や学童保育などを通し、児童青少年の育成や地域活動を行っています。子どもたちや地域の方に伝統文化に触れる機会を提供するため、様々な催しを企画しており、今年のクリスマス会では和太鼓の公演が行われました。

◇湖西太鼓ゆめ昂^{すばる}さんの公演・演奏体験

12月25日、湖西市ふれあい交流館において、なるっぴスクールのクリスマス会が開かれました。クリスマス会はなるっぴスクールの恒例行事で、大道芸や劇の公演など、毎年趣向を凝らした催しが開催されます。今年は、和太鼓演奏グループの湖西太鼓ゆめ昂さんを招き、子どもたちや地域の大人がおよそ120人参加しました。

公演では、参加者は迫力のある太鼓の音や響き、かけ声や踊りなどのパフォーマンスを楽しみました。特に、「佐吉のふる里太鼓」という、豊田佐吉の故郷・湖西市山口を想い作成されたゆめ昂さんのオリジナル曲では、子どもたちもリズムをとりながら手拍子するなど、一番の盛り上がりを見せました。また、太鼓体験も行われ、バチの握り方、たたき方などを丁寧に教えてもらい、子どもたちはそれぞれ割り振られたパートを覚え、一曲を演奏するという貴重な体験ができました。

「太鼓を楽しんで！」
倉田推進員の挨拶



▲丁寧なレクチャーで、上手にたたくことができました！

◇湖西なるっぴスクール

なるっぴスクールは、倉田推進員が3人の仲間と共に37年前に立ち上げ、当初は神社で缶ぽっくりなどをする活動から始まりました。「自然を愛して人を愛し、平和を願う」思いを大切に、「あ・せ・か・く・こ」の目標を掲げ、現在は学童保育や青少年活動、伝統文化の体験を通じた次世代育成などに取り組んでいます。倉田推進員は、「湖西の人たちが喜んで、感動して、幸せな一時を過ごしてほしい。日常ではなかなかない、伝統文化に触れる機会をつくりたい」という思いでイベントを企画しています。

NATURE ネイチャー

LOVE ラブ

PEACE ピース

あいさつをしよう

整理整頓をしよう

感謝して好き嫌いなく食べよう

靴をきちんと揃えよう

言葉づかいを丁寧に

★得意を生かした学びの場づくり

富士市放課後子ども教室×少年教育講座

(事務局) 一般社団法人 まちの遊民社

原 郁美 さん (人づくり推進員)

(講師) 三浦 喜久江 さん、菅井 良美 さん、

田中 たか子 さん (人づくり推進員 3名)



▲割箸鉄砲、けん玉で遊ぶ子どもたち

一般社団法人まちの遊民社(事務局:原郁美推進員)は、富士市社会教育課から委託を受け、放課後子ども教室を開催しています。まちづくりセンターや体育館などを会場に、全ての小学校の学区で開かれる教室では、富士市の人づくり推進員3名がそれぞれの得意なことを生かした3種類の催しを行っています。

◇三浦推進員のサッカーアイス

理系の道を歩まれてきた三浦推進員は、理科支援員の活動を経て、現在は市内小学校の理科クラブの指導者などを行っています。子ども教室では、身近な材料で遊びながら科学に触れることができ、最後はおいしさも楽しめるサッカーアイスづくりを担当しています。

アイスの材料を入れた小さな缶を、氷と塩をたくさん詰めた大きな缶の中に入れます。タオルでくるんで丸めたら、蹴ってサッカーをしたり、20分間めいっぱい遊びます。開封すると缶の中にアイスができており、子どもたちは大はしゃぎ。「今まで食べたアイスの中で一番おいしい!」という感想も寄せられるほど、大喜びでした。



▲三浦推進員 作り方を解説する

蹴れば蹴るほど、おいしくなります



◇菅井推進員の手作りおもちゃ

放課後に子ども教室に集まった子どもたちは、教室が始まるまで会場に用意された割箸鉄砲や竹のけん玉で夢中になって遊びます。これを作っているのは、おもちゃ作りが得意な菅井推進員です。菅井推進員が講師の日には、空飛ぶ円盤づくりが行われます。初めに完成品を飛ばす実演をすると、子どもたちからは大歓声が上がりました。

厚紙を羽根つきの円盤の形に仕上げため、型紙をなぞり、切り取ります。完成したら、羽根に輪ゴムをかけて強く引っ張り、離すことで円盤が回りながら飛んでいきます。飛距離を競ったり、ゴールに入れることを目指したりと、子どもたちの遊びの創造力を感しました。



▲飛ばし方のコツを伝授する菅井推進員

▶飛び方がふわりと気持ちよく、何度も飛ばしたくなります



◇田中推進員の折り紙

田中推進員は、折り紙の本を多数出版している、折り紙の達人です。田中推進員が「クリスマスにプレゼントを運ぶのは誰?」と問いかけると、子どもたちは元気よく「サンタさん!」と答えました。この日はクリスマスが近く、お題はサンタクロースの折り紙です。

子ども教室では、メイン講師の推進員を中心に、運営の原推進員や富士市社会教育課の職員、補助講師の方など数名で指導を行います。スタッフ全員で折り方を予習しているのので、子どもたちが折り方に迷ってもすぐにサポートすることができます。子ども同士でも教え合いながら、全員がかわいいサンタを折ることができました。



▲田中推進員(左)と原推進員(右)

▶上手に折れました!



★夢があるならやらまいか

本田宗一郎物語

(運営)「龍水の都」文化体験プログラム実行委員会

事務局長：笹竹 和行 さん

(人づくり推進員)



浜松市天竜区を中心に活動を行う「龍水の都」文化体験プログラム実行委員会は、地域にゆかりのある偉人を題材にしたミュージカルや、自然をイメージしたダンスの創作、発表を行っています。毎年11月に上演される本団体の代表作の一つである本田宗一郎物語は、今年度で20年連続の上演となりました。

◇夢・挑戦・実現

本田宗一郎物語とは、本田技研工業(株)の創業者である本田宗一郎氏が光明村（現在の浜松市天竜区）で過ごした少年時代を描いたミュージカルです。宗一郎氏の魅力的なキャラクターや力強く夢を追いかける様子、ものづくりへの想いやふるさとの美しさなどが描かれています。脚本や作詞・作曲、振り付けや演出など、全てが「龍水の都」文化体験プログラム実行委員会によって作成されているオリジナルの作品です。平成17年に初めて上演されてから、毎年修正を重ね磨き上げられており、これまでにおよそ2万人の方が鑑賞しました。

出演者は主に子どもたちで、小学生から大人まで幅広い年代の方が参加しています。月に2回の練習を、1年通して同じメンバーで行い、高めた表現力と団結力でレベルの高い作品を生み出すことができます。見学させていただいた練習では、柔軟運動から発声練習、歌唱指導や演技指導など、緊張感のある中全員が真剣に取り組んでいました。本番の舞台は、毎年楽しみにしている方も多いということが当然とも思える感動的な大作で、多くの人に観ていただきたい内容でした。笹竹推進員のドラムの演奏も必見です。



▲出演者の表現力や歌唱力はもちろん、工夫の凝らされた小道具や舞台装置にも注目です

◇ミュージカル創作と人づくり

「龍水の都」文化体験プログラム実行委員会は、平成14年に天竜壬生ホールが開館することをきっかけに、演劇などのワークショップを行うことになった笹竹推進員が、より本格的な活動をするために立ち上げました。「龍水の都」とは、天竜の“龍”と、複数のダムや美しい川のある天竜を表す“水の都”を合わせて作られた、郷土愛が詰め込まれた言葉です。

笹竹さんによると、子どもたちは活動に参加する中で自信を持つようになり、学校での様子も変わってくるそうで、それがやりがいになっているとのこと。これからの時代に必要なコミュニケーション力や創造力が向上し、ミュージカルで扱う偉人から夢や努力、人のつながりの大切さなどを学ぶことができます。「龍水の都」の活動により、参加者だけでなく観客にとってもミュージカルに触れることができる貴重な機会が、天竜の文化として根付いていると感じました。



事務局長の笹竹推進員(右) 脚本家の戸沢さん(左)

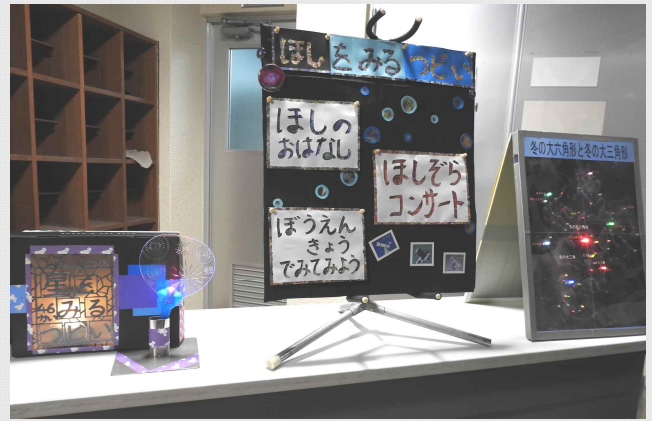


宝塚市でも公演した別作品「白井鐵造物語」

★R6年度第46回 親子野外活動教室

星を見るつどい

(主催) 浜松市
 (主管) 浜北少年科学クラブ
 (協力) 浜松市立北浜南小学校
 遠州天体写真愛好会
 浜北青少年活動推進員



浜北少年科学クラブは、浜松市の旧浜北区を中心に、年間に15回ほど理科に関する活動を行っています。1975年に発足し、2025年には50周年を迎える歴史ある団体で、中でも浜松市から委託されて行う「星を見るつどい」は、毎年クラブの会員以外からも定員を大幅に上回る申込みのある大人気企画です。

◇星のおはなしと星空コンサート

11月9日、クラブの指導者によるお手製の天体解説のパネルで彩られた浜松市立北浜南小学校の体育館には、およそ200人の親子連れが集まりました。「星を見るつどい」は3部構成になっており、第1部が星についての講演会、第2部はコンサート、そして第3部で天体観測を行います。

第1部の講演では、浜松市天文台に勤められていた先生から、天体についての解説が行われました。接近している彗星や今見ることができる星座、土星の輪っかや月についてなど、子どもたちにもわかりやすく興味深いお話でとても勉強になりました。

第2部のコンサートは、フルートとピアノ、カホンという打楽器の三重奏でした。「Fly Me to the Moon」や「銀河鉄道999」など、会にぴったりな10曲が演奏され、うっとりしたり手拍子で盛り上がったりと、参加者は大いに演奏を楽しみました。

▶大人も子どもも大満足の、美しく楽しい演奏でした



◇望遠鏡をのぞきこみました

天体観測のため校庭へ出ると、一面曇り空でした。天体の解説などを行っている中、幸運なことに所々晴れ間ができました。月や星が見えるようになると子どもたちから歓声が上がリ、指導者の皆さんが10台ほどの望遠鏡をそれぞれ操って、現れた天体を観測できるようにしてくださいました。次第に空全体が晴れてたくさんの天体を見ることができ、参加者は大喜びでした。終わり頃にはまた曇り、まるでこのつどいのために空が晴れたかのようでした。

クラブの代表の方は、「今日をきっかけにこれからも家族で星空を眺めてほしい」とお話しされていました。講演やコンサートも行うのは、もし雨や曇りで星が見えなくても楽しんでもらえるようにとのこと。つどいを楽しみにしている親子の気持ちに伝えるために、たくさんの工夫がされている素敵な活動でした。

▶晴れてよかったね！
 (写真は明るく見えますが、実際はかなり真つ暗です。手作りの灯籠が足下を照らしています。)



■編集・発行 静岡県 スポーツ・文化観光部 総合教育局 総合教育課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

TEL 054-221-3304

E-mail sougouEDU@pref.shizuoka.lg.jp

FAX 054-221-2905

URL <http://www.pref.shizuoka.jp/kodomokyoiku/shogaigakushu/hitozukuri/index.html>



静岡県の人づくり

検索